

フォンス・フローリス古楽院 関西講座発表会

Fons Floris

2011年11月23日(水祝) 午後4時
母の家ベテル 入場無料

問い合わせ: 井上 phone/fax 072-228-5288 ecclatin@aol.com

フォンス・フローリス古楽院は、西欧中世・ルネサンス・バロックの時代の音楽を、主に歌のアンサンブルを中心として実践する人たちのための学びの場です。古い音楽にふさわしい発声の基本、記譜法、声と声あるいは声と楽器のアンサンブル、言語の感覚、音楽史の知識、そして古い音楽の持つ深い霊性と高貴な精神性を、様々な楽曲を通して、楽しみながら学んでいます。

今年はスペイン・ルネサンスを代表する作曲家ビクトリアの没後400年にあたりますので、それを記念して、ビクトリアの作品を中心に組み組んできました。勉強と練習の成果をお聴きいただければ幸いです。

【演奏曲】

グレゴリオ聖歌 *Gregorian chant*

聖母の晩課より *In festivitatem Beatae Mariae Virginis ad vesperas*

トマス・ルイス・デ・ビクトリア *Tomás Luis de Victoria (1548-1611)*

詩編113編「主の僕らよ、賛美せよ」 *Psalmus 112: Laudate pueri*

詩編127編「主が家を建てられるのでなければ」 *Psalmus 126: Nisi Dominus*

第4旋法のマニフィカト *Magnificat quarti toni*

賛歌「めでたし 海の星」 *Hymnus: Ave maris stella*

8声の「アヴェ・マリア」 *Ave Maria a 8*

ヨハネス・オケゲム *Johannes Ockeghem (ca.1410-1497)*

ミサ《カプト》より キリエ、グローリア *Missa Caput - Kyrie, Gloria*

【演奏】 フォンス・フローリス古楽院関西講座2011

「一般クラス」受講生 「アンサンブルクラス」受講生

【指揮・指導】 花井哲郎

早稲田大学第一文学部哲学専攻卒業。アムステルダム・スウェーリンク音楽院にて、オルガンとチェンバロを学ぶ。ロッテルダム音楽院において合唱指揮と管弦楽指揮のディプロマを取得。またブラバント音楽院にて古楽声楽アンサンブルをレベッカ・ステュワートに師事。またグレゴリオ聖歌の研究・演奏活動にも従事。1997年に東京にて「ヴォーカル・アンサンブル カペラ」を創設、以来ルネサンス・フランドルの宗教作品の演奏を続ける。古楽をレパートリーとするアンサンブル、合唱団、管弦楽団などを指導するほか、様々な講習会や講座の講師を務め、グレゴリオ聖歌、ルネサンス・バロックの宗教音楽の演奏と普及活動を行う。古楽アンサンブル「コントラポント」リーダー、フォンス・フローリス古楽院院長、国立音楽大学講師。



「母の家ベテル」阪急神戸線「御影」駅 徒歩7分